# １年道徳報告書①　　Ｒ３．４．２８

本年度も、御家庭の皆様に本校での道徳の様子をお伝えしていきます。
第１回の道徳報告書は「挨拶しますか、しませんか」という主題【場に応じた挨拶】です。内容は、知らない人々から挨拶され清々しい気持ちになった男性、山での挨拶で疲れが癒やされた女性、挨拶禁止のルールが作られ違和感を覚えた男性の３人のお話です。入学以来、御家庭や学校で「挨拶しなさい。」と言われ続けている生徒たちに、「なぜ、挨拶が必要なのか」を考える機会になったと思います。

生徒の意見より
〇挨拶の意義についてまとめてみよう。
・挨拶は、人とのコミュニケーションを取り、自分のためとしてすると思うし、挨拶をして、された人が気持ちよくなるし、うれしいので他の人のためにもやっていくのだと思いました。
・いざという時やコミュニケーションなどができるようになるため挨拶があり、だから、人と人が助け合える。だから挨拶をする。（して楽しいから）
・相手と自分が嫌な気持ちにならないようにして、また、挨拶をしないと住んでいる所の雰囲気が悪くなるから、挨拶をしていると思う。
・あいさつがあると、みんな良い気持ちになり、爽やかなあいさつが増えていく。しかし、あいさつがないと他人と気まずいし、楽しくないから余計にあいさつが減る。
・挨拶はコミュニケーションである。挨拶することで、何かある時に助け合えるから、コミュニケーションの基本であると思った。
・挨拶をしないと、自分命を守ることもできなくなるかもしれないし、信頼をつくることもできないから、誰にも頼れず、何をするにも一人になると思った。だから、身近な人たちに、たくさんあいさつをした方が良いと分かった。
・挨拶をすると、コミュニケーション力が高くなります。挨拶をしないと、友だちができなくなると思います。挨拶とかのきっかけで、仲良くなる人とかもいると思うからです。
・挨拶は、自分も相手も癒やされる魔法のキーワードなので、重要であると思います。たくさんの言葉がある中、挨拶はより伝わりやすい言葉であるのがおもしろいと思いました。
〇授業を終えての感想
・挨拶をすることで、された人やする人がスッキリして、お互いに優しく接することができる。
・「挨拶すること」の意味が意外とたくさんあるということが分かった。災害などの時、まわりの人と協力することができると分かったので、これからはもっと挨拶できるようにしたいです。
・（挨拶することに）反対の意見が出てきて「ホーッ」と感心したし、自分と同じことや似ている考えの人もたくさんいるということが分かった。
・挨拶は自分のためだけじゃなく、災害のときなど、相手のためにもなると知った。山での挨拶する意義は、日常生活で挨拶することの意義にもなるなと思いました。
・挨拶はたくさんの場面で使われている。人と人との信頼を生み出すものである。私もマナーであり、強制的にやらなきゃいけないのではなく、当たり前のもの、また、自分の身を守るものとして挨拶していきたい。
・これからは、しっかりと挨拶をしていきたいと思う。なぜなら、災害の時に人を助けられるし、信頼性もアップしていくからです。
・私は挨拶はきちんと自分からしているけれど、繰り返していると最後の方で、「おはようございます！」から「おはようございまーす。」になっています。だから、これからはきちんとしたいと思いました。

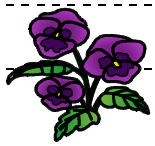
---------- キリトリセン ----------

ご意見・ご感想をお待ちしております。今後の授業計画の参考にさせていただきます。

---

---

---



お子様の名前（　　）